

平成28年3月臨時教育委員会会議録

(1) 開会及び閉会に関する事項

平成28年3月8日(火)

三好市教育委員会1F 中会議室

開会 午後13時00分

閉会 午後14時10分

(2) 出席委員の氏名

委員長 小松 正

委員長職務代理者 谷 敏司

委員 前川 順子

委員 新久保 由美子

教育長 倉本 淳一

(3) 委員を除くほか、議場に出席した者の氏名

▼出席職員

学校教育課長

東口 栄二

生涯学習・スポーツ振興課長

近藤 一樹

文化財課長

中岡 久雄

池田学校給食センター所長

内田 妙子

(4) 傍聴人

▼傍聴人

0名

◆小松委員長

ただいまの出席委員は5名であります。定足数を満たしておりますので、ただいまから平成28年三好市教育委員会3月臨時教育委員会を開催したいと思います。

これより本日の会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配布いたしました議事日程の通りでございます。

(5) 議事録署名者の指名

谷 敏司委員

◆小松委員長

初めに議事録署名者を決定いたします。議事録署名者は例月通り、谷委員さんをお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

(6) 議案

第 33 号 平成 27 年度末三好市立学校教職員の人事異動について

◆小松委員長

それでは、議案審議に入ります。議案第 33 号“平成 27 年度末三好市立学校教職員の人事異動について”を議題といたします。本案件は人事に関する議案ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第 14 条 7 項の規定により、非公開で行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

それでは、本議案に係る審議を非公開といたします。

(審議非公開)

◆小松委員長

これより会議を公開に戻し、議事を進行します。なお、非公開で審議した“平成 27 年度末三好市立学校教職員の人事異動について”は原案のとおり承認いたしました。

(7) その他

◆小松委員長

続きまして、その他の項目に入ります。

◆東口課長

議案追加に間に合いませんでしたが、お手元にお配りしております、“平成 28 年度三好市教育委員会重点施策”で下線を引いているところが前回ご指摘を受けて、事務局で修正をしたところです。今日ご承認いただいて決定できればと思っておりますので、よろしくお願ひします。

最初のページからお願いします。(1) 共に生きる社会づくりと人権文化の創造の(1)「学び」の支援と生涯学習環境の整備・充実の①です。これまでは、“人材の活用を図り、多様な学習機会の提供を図る。”という文言がありました。が、“育成”という文言がいいかどうかというご意見がございましたので、“多様な学習機会を提供し、人材の育成や活用を図る。”としました。③の“生涯学習施設の整備・充実を図る。”ですが、公民館の移転の問題があるという話がありましたが、まだ十分に話が固まっていないので“生涯学習施設”を“公民館”という形にさせていただきました。同じページの(3)人権問題解決へ

の実践化の②ですが、ご指摘はありませんでしたが、“人権啓発を推進するため、メディア等の活用を図り、人権教育を積極的に展開する。”でした。この“人権啓発を推進するため、”という文言を削除しまして、“メディア等の活用を図り、人権啓発を積極的に展開する。”という簡潔な文言にさせていただきました。次のページにいきまして、重点施策の(2)“地域文化の振興・継承”とあり、“継承”をそのまま残すという事を変えておりません。同じページの(3)豊かな生涯スポーツ社会の実現の(1)ですが、これまでは“三好市スポーツ振興基本計画に基づく市民スポーツ活動”とあり、このままでもいいのではないかというご意見もありましたが、教育振興計画の後期計画に沿った形の方がいいのではないかというように事務局で判断しまして、基本計画通りに“市民スポーツ活動”という文言にさせていただきました。次のページで(3)の(2)「総合型地域スポーツクラブ」の推進で老人クラブや女性団体との連携等もあるのではないかというご意見いただきましたので、③に“団体等の活性化を図り、”を、“団体等との連携強化を図り、青少年の健全育成、高齢者の健康づくりに努める。”という文言に訂正させていただきました。次のページです。基本方針2の(1)の(1)が前回は“オンリーワン・スクールの推進”でした。その中でナンバーワン・スクールという文言もありましたが、実践施策の表題として、基本計画の後期計画に沿って“ナンバーワン・スクールの実現”としました。これまで②は“特色ある学校づくりの取り組み”とありましたが、“特色ある”という文言を削除し、“学校づくりの取り組み”、またこれまでは“オンリーワンからナンバーワン・スクールの実現を目指した”とありますが、表題がナンバーワン・スクールの実現となりましたので、“オンリーワン”という文言を削除しまして、“ナンバーワン・スクールの実現を目指した”という文言にさせていただきます。同じページの(3)の③の土曜授業関係ですが、“H27年度より実施する”という文言を“H27年度より実施の”という形で実施していることを文言に入れさせていただきます。次のページの(2)の(2)の③ですが、これまで“早期発見、早期対応に努めるとともに”とありましたが、何の早期発見、早期対応なのかわからないという事で、“いじめ・不登校・非行の早期発見、早期対応とともに、「3ゼロ」運動及び「体罰ゼロ」を展開し、”という文言に変えさせていただきます。次のページの(3)の(1)の②「教育の日」や「教育週間」はそのままという事に変更しておりません。③の“職業観”の漢字が間違っておりましたので、漢字を訂正しております。次のページの基本方針3は基本計画の後期計画では具体的実践施策の文言が変わっております。前回は(1)“学校教育と適正規模・適正配置”でしたが、後期計画では、“ネットワークを活用した連携教育の推進”、(2)“小学校の統合の推進”が“小中連携及び一貫教育の推進”、(3)“幼・保一体教育の推進”が“認定こども園の拡充”というふうに訂正しております。これに伴い、具体的実践施策については文言をすべて変えております。(1)は①合同学習等の交流体制を構築すること、②山城校区で取り組んでいるICT機器を活用したチェーンスクールのこと、③のへき地指定学校の教職員定数改善については前回もありましたので、それとともにICT教育の環境整備に努めるという形の文言を加えておりま

す。(2) ① “チェーンスクールによる小・中連携教育の成果を踏まえ、望ましい教育課程の編成等、校内体制づくりを推進する。”、② “西祖谷校区の小中一貫教育（徳島モデル）の実践を検証し、他校区への拡充についての研究を推進する。”、③ “一体型及び連携型や義務教育学校等の小中一貫校の実現に向けた取り組みについて検討する。” という文言を加えております。(3) 認定こども園の拡充は前回の幼・保一体教育の推進と共通している部分もあるので、③これまでは「預かり保育」を実施し、とありましたが、「預かり保育」の体制を整備し、という文言に変えています。次のページの重点施策ですが、これまでは(2) “安心で安全な教育環境の整備・充実” でしたが、“安心で安全な施設設備の整備・充実” になっております。実践施策も(1) “防災・減災対策等の推進” が“校舎等の耐震化と防災教育の推進” になっております。①も“学校（園）防災ネットワーク活動の活性化を図り、市内学校の防災・減災対策を強化する。” という文言に変えております。③は“平成26年度より5か年計画で実施している学校備蓄品購入事業により、” という文言がありました。 “5か年計画の学校備蓄品購入事業（H26 事業）を予定通り推進し、” というふうに、これからも継続して推進していくという文言にさせていただきました。同じページの(2) “食育と地産地消の推進” でしたが、“食育の推進と地産地消” と後期計画に合わせて変えてあります。③ “H.28 年度開設予定の統合給食センターの建設にあたり、” という文言を “三好市学校給食センター（H.28.3 完成）を中心に、” という文言に変えさせていただきました。三好市給食は、正しくは三好市学校給食センターです。訂正をお願いします。(3) “学校内外の安全と地域ボランティア活動の充実” でしたが、後期計画では“学校内外の安全確保と地域のボランティア活動” という文言になっていますので、修正させていただきました。以上が前回ご提示した後、委員の皆様から指摘のあった部分を事務局の方で訂正した箇所になります。今日ご審議いただきまして、変更する点がありましたら、ご指摘いただけたらと思います。よろしくをお願いします。

◆小松委員長

基本方針2の(1)の(1)の②ですが、“学校づくりの取り組みを公表し、” となっていますが、いきなり“学校づくり” となっていますが、わかりにくいような気がします。

◆倉本教育長

①、③に“特色ある学校づくり” とあるので、大丈夫だとは思いますが。

◆小松委員長

確認ですが、基本方針3の(1)の(2)の② “西祖谷校区の小中一貫教育” とありますが、この文言でいいのですか。

◆東口課長

県教委でも、徳島モデルの一貫教育としているので問題ないと思います。

◆小松委員長

少し気になったのは、小中一貫教育という表記は、一貫校という誤解を受けるのではないかという心配です。

◆東口課長

徳島県の場合は小中一貫教育の中にチェーンスクールとパッケージスクールという2つのパターンがあります。チェーンスクールは、学校は離れていても地域で結んでいくという意味になります。

◆倉本教育長

山城校区も現在は小学校のみの検証事業ですが、中学校も参加して小中の連携を強化すべきではないかということで、来年から研究会には中学校も参加していただくよう依頼しました。いずれにしても、チェーンスクールは小中の一貫的な教育という視点をもって取組み、小学校同士から、小と中の双方もチェーンで結んでいくという発展的な形にしたいと思います。

◆小松委員長

いかがでしょうか。

◆中岡課長

日本語の使い方の問題ですが、基本方針3の(1)の(3)の③“H27年度より実施”となっていますが、“H27年度から実施”の方がいいのではないのでしょうか。

◆倉本教育長

その方がわかりやすいですね。

◆小松委員長

他にございませんか。

◆委員一同

ありません。

◆東口課長

それでは訂正する箇所は今ご指摘があった“H27年度から実施”と“三好市学校給食センター”の“学校”を入れるということで修正させていただきます。そして、県教委振興計画との関連については県教委が定めた後期計画に沿った基本方針を入れさせていただきます。決定したいと思いますので、よろしくお願いします。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

その他ございませんか。

◆東口課長

続いて、A3版の資料をお願いします。平成27年度の教育委員会の評価点検になります。1が教育委員会の活動ということで、教育委員会の会議の運営改善や事務局との連携、市長との連携や教育委員の研修について入っております。2は教育委員会が管理執行する事務ということで、平成27年度に実施してきたことを書いております。最後に評価のA、B、C、Dがあり、達成度により評価しております。H27年度評価の事務局評価の方は事務局の

方で評価させていただきました。教育委員の皆様にはその隣の欄の教育委員評価に評価していただきます。3は教育委員会が教育長に管理・執行を委任する事務でここが平成27年度の重点施策に基づいた形で27年度における取組の計画と実施内容ということで各担当に記載していただいた文言になっております。左欄が平成27年度の事務局評価で、AからDで評価しております。右欄が平成26年度の事務局評価です。参考として載せてあります。また、エドバイザーの方には3の教育委員会が教育長に管理・執行を委任する事務を評価してもらい、次回の教育委員会で教育委員の皆さんに提示できればと思っております。

◆倉本教育長

次回の教育委員会で完成できればありがたいです。

◆小松委員長

エドバイザーさんには3からという事ですが、そうすると、3の教育委員会が教育長に管理・執行を委任する事務に関しては第三者評価が入りますが、肝心の教育委員会の活動については第三者評価が入りません。第三者評価も必要になってくるのではないかと思うのですが、どうでしょうか。

◆東口課長

教育委員会の活動の評価を第三者がすることは難しいと思います。ですから、ホームページで公表したり、議会に提出して報告義務があるという事で、教育委員会の活動や教育委員会が管理執行する事務についてどうだったかの評価を公表します。そして、教育委員会が教育長に管理・執行を委任する事務ということが所謂、学校教育課、生涯学習・スポーツ振興課、文化財課がやっていることをここで第三者委員会の方に評価していただいた分が必要になってくるという事です。

◆小松委員長

たとえば、教育関係であれば、校長先生に評価してもらおうとか、社会教育であれば社会教育委員会などありますが、そういう人たちに評価してもらってもいいと思います。

◆倉本教育長

エドバイザーさんもすべての内容を評価できるわけではありません。学校現場へ指導に行っている関係で、学校の実態を通して評価してもらっています。教育委員の評価は内部評価と言いつつも教育委員さんがそれぞれの立場で評価されているので、事務局からすれば外部評価ともいえます。同様に、エドバイザーもある意味教育委員さんに準じたお立場ですので、外部評価と言えるのではないかと考えています。

◆谷委員

この評価は義務付けられているのですよね。

◆倉本教育長

評価の実施は義務付けられています。

◆谷委員

公表も義務化されているのですか。

◆倉本教育長

はい。

◆谷委員

他の教育委員会の評価も見られるという事ですか。

◆東口課長

ホームページ等でみられると思います。

◆小松委員長

平成27年度の教育委員会の評価点検は次回の定例委員会までに目を通していただくようお願いいたします。

◆東口課長

昨年もそうでしたが、事務局がB以下の評価をしているところは何ができていなかったのかを重点的に説明していく形でよろしいでしょうか。

◆小松委員長

どうですか、よろしいでしょうか。

◆委員一同

はい。

◆小松委員長

それでは次回でまとめられるようにお願いします。

他ありませんか。

◆委員一同

ありません。

◆小松委員長

それでは平成28年3月臨時委員会を終わります。お疲れさまでした。

以上

本会議録に相違ないことを認め署名する。

平成28年 月 日

委員長

議事録署名者

書記